

東京 デザイン 巡り

観覧車

日本で現在稼働している観覧車の数は約140台ほどだそうです。東京都では8台の観覧車が営業しています。日本最大の観覧車は昨年7月に開業した大阪のエクスポシティにある OSAKA WHEEL (オオサカホイール) です。高さは123m、さらに全ゴンドラが床面シースルーという高いところが苦手な筆者には恐怖の仕様です。また世界最大の観覧車はラスベガスにあるハイ・ローラーで高さは170mです。

世界初の動力式観覧車は1893年のシカゴ万博にアトラクションとして設置されたものとされています。エッフェル塔に対抗して作られその高さは80mに及びました。観覧車は始まりからスケールの大きいものだったようです。

日本の観覧車の歴史は1906年に大阪で開催された日露戦争戦捷記念博覧会に設置された観覧車から始まります。この観覧車は蒸気動力により動いていました。今でも営業している最古のものは函館公園こどものくににある観覧車です。大沼国定公園に1950年に設置された後に1965年に函館公園に移設したとのことなので70年近くも稼働している高さ12mの観覧車です。

広報委員：永田 翔太郎／株式会社ムラヤマ



ダイヤと花の大観覧車（葛西臨海公園）

江戸川区の葛西臨海公園にある観覧車、世界最大の観覧車となる見込みでしたが完成前にイギリスのロンドン・アイ（高さ135m）が完成したため世界最大にはなれませんでした。また日本最大の座は同じく2001年に営業開始した福岡マリノアの SkyDreamFukuoka（高さ120m）に奪われました。その後2009年に SkyDreamFukuoka が営業終了したため返り咲きを果たしましたが昨年 OSAKA WHEEL が営業開始したため現在は国内2位となっています。

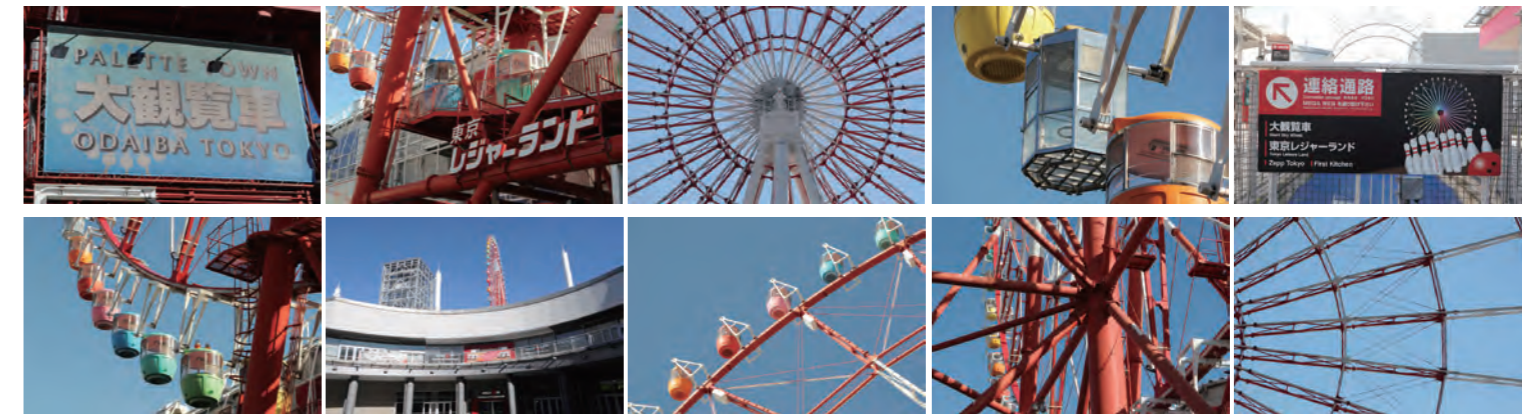
名前はダイヤモンドと花をイメージしたイルミネーションに由来します。周辺に高い建造物がないためかなり広い範囲の景色を眺めることができます。2001年営業開始、高さ117m、直径111m、1周約17分、ゴンドラ68台、一般料金：¥700



大観覧車（パレットタウン）

眺望の良さは好評で夜景や展望スポットのランキングによく登場します。東京タワーや東京スカイツリー、レインボーブリッジ、羽田空港、新宿の高層ビル群等を一望する事が出来ます。全64台のゴンドラのうち4台が床面、壁面すべてシースルー仕様になっています。また、ロンドン・アイが開業するまでは世界最大の観覧車でした。

四季やクリスマスなど季節ごとにイルミネーションの演出パターンを変えています。1999年営業開始、高さ115m、直径100m、1周約16分、ゴンドラ64台、一般料金：¥920



ビッグ・オー（東京ドームシティ）

特徴的な型の観覧車、通常の観覧車と違いゴンドラを支える中心軸がありません。センターレス型観覧車というそうです。リング自体が回転しているわけではなく、円周のレールがありそこをゴンドラが480個のタイヤによって走行しています。ジェットコースター「サンダードルフィン」が輪の中をくぐり真横を通過します。

ゴンドラにはタブレットが設置されておりBGMを自由に選曲する事ができるようになっています。2003年営業開始、高さ80m、直径60m、1周約15分、ゴンドラ40台、一般料金：¥820

